



## *Japan Digest No.7*

2008年7月23日

INPEA 日本国委員会  
会員各位殿

猛暑の日々が続いておりますが、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

世界 57 カ国にネットワークを持つ、INPEA（高齢者虐待防止国際ネットワーク）の日本国委員会は、今年も 6 月 15 日（日）に、第 3 回目の「世界で高齢者虐待防止について考える日」(The Third Annual World Elder Abuse Awareness Day : WEAAD) ※のイベントを開きました。会場は、これまでと変えて、私学会館アルカディア市ヶ谷で行いました。

WEAAD は、INPEA が企画したイベントで、毎年、世界各国の INPEA 会員国が、6 月 15 日に、何らかのイベントを同時開催するというスケールの大きい企画です。日本は、日付変更線のため、今年も（いつも、ですが）、世界で最初に、第 3 回 WEAAD のイベントを開催しました。

今年も、研究者、現場の介護職員や看護師、介護関連会社の社員、大学院生、そして新たに INPEA の会員でなかった方々もお迎えして、活発に意見がいただけ、成功裏に会が終了したと思います。ご参加いただきました 24 名の皆様には、日曜日に繰り出していただきましたこと、心よりお礼申し上げます。また、遠くは、福井県から駆けつけてくださった会員の方もおられました。本当に、有難うございました！！

本ジャパン・ダイジェスト No.7 では、その第 3 回 WEAAD のイベントの様子と私が副大会長として関わりました第 5 回日本高齢者虐待防止学会千葉大会について、簡単にご紹介し、秋に開催される GSA（Gerontological Society of America : 米国老年学会）のご案内をさせていただきます。

### ※) WEAAD の趣旨

INPEA が毎年 6 月 15 日を「世界で高齢者虐待防止について考える日」(WEAAD: World Elder Abuse Awareness Day) と定めた趣旨は、高齢者虐待問題が、「グローバルな社会問題」であるという認識を高めると同時に、効果的な対応の必要性を再確認し、この日を機会に、高齢者虐待の問題を予防する活動が、次の一年、さらに長期の目標に向けて推進するように、との願いから始めたものです。今年で 3 回目を迎えました。

## 1. 【第3回「世界で高齢者虐待防止について考える日」日本のイベント開催報告】

INPEA 日本国委員会は、2008年6月15日(日)の午前10時より2時間(+昼食ネットワーク)、市ヶ谷にある私学会館アルカディア市ヶ谷で、第3回「世界で高齢者虐待防止について考える日」(WEAAD)のイベントを開きました。司会は、INPEA 日本国委員会代表の塚田が務めさせていただきました。



<今年のWEAADの4名の講演者の方々>

左の写真は、今年の講演者の方々と、右から、多々良紀夫先生(淑徳大学大学院総合福祉研究科教授)、田中荘司先生(日本高齢者虐待防止学会:JAPEA顧問(元理事長)、日本大学客員教授、NPO法人日本高齢者虐待防止センター(JCPEA)理事長)、高崎絹子先生(JAPEA理事長、放送大学教授)および志藤洋子先生(ILC:国際長寿センター、国際事業部長)です。

皆さまには、全くのボランティアでご講演いただきました。まずは、この場を借りてお礼申し上げます。ご講演の内容は、当日ご参加下さった、シルバー新報記者吉田氏の記事に丁寧にまとめられておりますので、同封致しました6月6日(金)発行のシルバー新報をご高覧下さいますようお願い申し上げます。

以下に、会次第に沿って、会の様子を簡単にご紹介いたします。会場は私学会館アルカディア市ヶ谷4階飛鳥。まず、第3回WEAADは、午前10時を少しまわったところで、私のやや緊張した開会の挨拶で始まりしました。第1回目のWEAAD開催時にはINPEAの日本国会員数は22名でしたが、現在57名にまで増加したことや、INPEAには現在世界で57カ国が参加していることなどを説明しました。

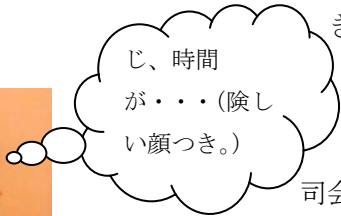
司会によるプログラムの内容説明後、田中荘司先生の「高齢者虐待:イギリスの動向」という題目で講演が始まりました。田中先生は、イギリスで最初に高齢者虐待が社会に認識されたのは1975年の「Granny Battering」の論文であったことや、2007年の面接調査結果によると、イギリスの高齢者虐待で一番多く見られた虐待は、ネグレクトで、次に経済的虐待→心理的虐待と続いたこと、イギリスにも高齢者虐待防止法制定の動きがあることなど、イギリスの高齢者虐待の最新のポイントを短時間でまとめて御紹介いただきました。



次に、高崎先生は、スライドをたくさんご準備くださり、「高齢者虐待の課題と日本高齢者虐待防止学会（JAPEA）の役割」というタイトルで、高齢者虐待防止法成立までの経緯や、平成18年の厚生労働省の調査結果を図表にまとめて分かりやすく、日本の高齢者虐待の現状と今後の課題をまとめてくださいました。そして、高齢者虐待の発見と対応というところでは、具体的な各専門職の対応や予防策の提言と、最後に、日本高齢者虐待防止学会の今後の役割についてまとめていただきました。



お二人のご講演が終わった後に、休憩と参加者による自己紹介の時間を急遽とりました。一人1分くらいで……と言うことだったのですが……。皆さま、まあ、この写真



きわめて時間厳守でいて下さいます、からもお分かりいただけるかと思いますが、なかなかマイクを持つ手に熱が入りまして……。司会者といたしましては、喜んでいいやら、困ったやら、でして……。来年度は、参加者の方々が、もっとたくさんご意見を言えるようなプログラムに【絶対に】したいと思います。参加者の皆様、時間が足りずに大変ご迷惑をおかけしました。



<司会 塚田> また、次講演者の志藤先生、多々良先生には、ご講演の時間短縮となりましたこと、お詫び申し上げます。

次に、ILCの志藤先生からは、最近のILCセンターが、今では世界10カ国にまで広がったことや、今回同封させていただきました、長寿社会グローバル・インフォメーション・ジャーナル8巻の「高齢化する世界の人権」の各国のデータの一部をご紹介いただきました。



また、最後の講演者多々良先生は、これまでのフロアからの質問に対する応答や、昨年度、氏がスイスのジュネーブ国連本部で受賞された、「ロザリー・ウフル国際賞」の名前となっている、ロザリー・ウフル氏の経歴やお人柄の説明をされながら、「ロザリー・S.ウルフ女史から何を学ぶか」というタイトルで、いつもの多々良節で講演を締めくくられました。



その後、時刻はすでに12時半近くになっており、午後の計画がおありになられた参加者の皆様には大変ご迷惑をおかけしたのですが、このWEAADは、「世界各国で行われるイベントである」ことを意識し、世界の仲間へ声をかけるという意味で、「Hello, From Japan」のカードを掲げて、全体写真を撮りました！皆さまのご協力誠に有難うございました。



写真撮影後は、希望者による昼食ネットワーキングの時間に入り、三々五々、自由に歓談をしながら、おいしいお弁当を食べて、午後2時前に会は無事終了しました。深謝。



<←会場全体の様子>





**第3回 WEAAD イベント後の参加者の全体集合写真  
(一応、「Hello! From Japan!」と書いてある・・・。)**

※ カメラマンが空腹からくる疲労により(?)、英字の確認がよくできていないようでした・・・(トホホ)。

**2. <7月5日(土)：第5回日本高齢者虐待防止学会千葉大会開催報告>**

去る7月5日(土)の朝8時半受付開始、9時半プログラム開始で、千葉県 JR 海浜幕張駅の海外職業訓練協会 (OVTA) を会場として、第5回日本高齢者虐待防止学会千葉大会 (大会長：多々良紀夫) が開かれました。大会テーマは、「高齢者虐待の防止一法制化の成果と今後の課題」で、日本全国から総勢400名の参加者を得て、多くの学会・スタッフの皆さまのご協力により無事成功裏に終わりました。

大会の基調講演は、和田忠志氏 (東京医科歯科大学医学部臨床教授・医療法人財団千葉健愛会理事長) による「現実と対決する高齢者虐待防止ネットワークとは？」でした。また、この外にも、シンポジウム「養介護施設従事者及び養介護事業従事者による高齢者虐待一法制化の成果と今後の課題」、地方行政フォーラム「地方自治体は高齢者虐待にどのように対応しているのか」、国際交流集会および30にも及ぶ一般演題の研究発表が行われました。

来年の第6回日本高齢者虐待防止学会は名古屋で行われる予定です。いつもは、だいたい7月の第1週目土曜日開催となっているのですが、来年が丁度、4年に一度開催される世界老年会議 (IAGG : World Congress of Gerontology and Geriatrics) の開催期間 (2009年7月5日(日)~9日(木)) と続くため、現在調整中となっております。詳細は、日本高齢者虐待防止学会のHPでご確認下さい (<http://japea.umin.jp>)。それでは、皆さまと名古屋でお会いできますことを楽しみにしております。

### 3. <2008年11月21日(金)～25日(火): 米国老年学会 (GSA) のご案内>

毎年開催されております、第61回米国老年学会(GSA)のご案内です。今年は、11月21日(金)～25日(火)の期間に、アメリカのメリーランド州の National Harbor で開催されます(<http://www.agingconference.com>)。また、詳細プログラムは公開されていないのですが、毎年、様々なトピックに関心のある人たちが自由に集まって、情報を共有し、自由に議論しあう場である、“Interest group”の集まりの時間があります。INPEAも毎年この会を持っています。Interest group の名前は、“Elder abuse, neglect and exploitation”で、この会の facilitator(司会者)は、INPEA アジア地域担当理事多々良先生です。私は、今年もGSAに参加する予定で、ぜひ Interest group にも参加して、皆様に世界の様子をお伝えしたいと思っております。

### 4. おわりに

日本は、今回の WEAAD の参加者の皆さまからのご意見でも再確認されたように、被虐待者のみならず虐待者の養護も含めた素晴らしい高齢者虐待防止の法律を持つ国です。このような高齢者虐待防止の「先進国日本」となった今、研究者のみならず現場実践者の皆様、そして、一般の方々と一緒になって、日本の高齢者虐待防止への取り組みを世界へ発信していけたらと願っております。皆さん、共に頑張りましょう！！

57カ国のネットで結ばれた INPEA (国際高齢者虐待防止ネットワーク)は、国連の助言機関です。昨年現在の数字ですが、世界 INPEA の会員数は概算で2000名強、だそうです。本 INPEA の入会は無料です。皆様の同僚・ご友人をご紹介しますようお願いいたします！ご入会者には、世界からの配信メール(英語です：希望者に転送いたします)や日本版ニュースレター (Japan Digest)、各種ご案内が郵送されます。

7月5日(土)の千葉大会を終えて、現在の INPEA 日本国委員会の会員数は66名となりました！！私が、3年前に日本国委員会を任されて以来、まさに草の根の活動ですが、小さな活動の輪を少しずつ広げて参りたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。6月15日(日)の世界各国の WEAAD の活動報告が世界 INPEA から参りましたら、またご案内申し上げます。

猛暑となりました。皆様、どうかご健康に十分留意され、よい夏をお過ごし下さいますように。

草々

INPEA 日本国委員会代表 塚田 典子  
日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科  
E-mail : [tsukada.noriko@nihon-u.ac.jp](mailto:tsukada.noriko@nihon-u.ac.jp)  
Tel : 03-5275-9430 (研究室)  
Fax : 03-5275-8386 (講師室)  
INPEA 日本国委員会 : <http://www.inpea.jp>  
INPEA : <http://www.inpea.net>